

6 1 2号線の段階的な活用方策

1 2号線の延伸整備については、光が丘駅から東所沢駅までを一括整備した場合の方が、事業採算性からは有利であるとの検証がなされたことから、延伸整備にあたってはできる限り 期・ 期区間の一括整備が望まれる。

しかし、現状における整備計画の進捗・熟度や、 期区間整備で検討が必要となる都県間の調整、事業スキームの確立等を勘案すると、光が丘駅から大泉学園町駅までの 期整備区間と、大泉学園町駅から東所沢駅までの 期区間に分けて事業を行うことを考慮する必要がある。

以下に、1 2号線の延伸整備が、 期・ 期の段階的整備にあった場合においても、期以降の事業を速やかに開始できるような1 2号線の活用方策について検討する。

(1) 対象地域から1 2号線までのアクセス確保

期区間の終着駅となる大泉学園町駅までの交通アクセスを確保することより、 期整備の未着手の時期においても、沿線地域の開発の促進・人口定着を図る。

対象地域から大泉学園町駅までの定常的な交通アクセスが想定される地域は、駅勢圏の広がりからみて、新座市南部の市街地が想定される。

新座市南部の市街地を、関越自動車道を挟んで、東側の池田地区・馬場地区、栄地区と、西側の道場地区、片山地区等に分けて、アクセス確保について検討する。

【アクセス道路】

- 大泉学園町駅周辺では、新座市方面からのアクセスが可能となるような都市計画道路の計画がないことから、現道を基本にアクセスルートを確認する必要がある。
- 関越自動車道東部からのアクセスルートとしては、主要地方道保谷志木線から市場坂橋を経由して、都市計画道路・補 135 号の現道よりアクセスするルートとする。
- 関越自動車道西部からは、主要地方道保谷志木線から産業道路・バス路線を経由して、都市計画道路・補 135 号の現道よりアクセスする。
- 長期的には、補 230 号の延伸整備区間を経由してアクセスするルートも考えられる。その場合、新座市側に補 230 号に接続する新たな道路整備が必要となる。

【バスアクセス】

上記のアクセスルートは、いずれもバス路線となっているものの、沿線地域から大泉学園町駅を経由するバス路線はないため、朝霞駅やひばりが丘駅から西武大泉学園に至るバス路線の新設等によりバスアクセスを確保することが望まれる。

(2) 大泉学園町駅の結節機能の考え方

大泉学園町駅は、期整備区間では終着駅となることから、駅勢圏は他駅に比べて大きく広がることが想定される。

従って、駅舎は地下に整備されると考えられるが、地上部には広域からのアクセスを可能にするための駅前広場等の結節点施設整備が望まれる。

バス路線は、現在、補 135 号に配置されており、大泉学園町駅の開業時には新たに停留所の設置が必要であることから、バスの乗り入れが可能な駅前広場の整備を行うことが望まれる。

【結節点施設の概要】

- 需要予測結果による大泉学園町駅の端末交通手段別利用者数から、駅前広場に必要施設諸元、及び面積を 48 年式¹にもとづき算定する。
- バスバース²は乗降用に各 1 バースが必要である。
- タクシーバースは、乗降用に各 1 バースとタクシー用駐車スペースが 3 台程度必要である。
- 自家用車は、乗降用に 1 バースと駐車スペースが 2 台程度必要となる。
- 駅前広場面積は、48 年式では約 2,400 m²、28 年式では約 3,100 m²と算定される。
- 大泉学園町駅周辺では、補 135 号と 1 2 号線の導入空間となる補 230 号の 2 本の都市計画道路があるが、大泉学園町駅以西の区域では一方通行の道路が多く、補助幹線、区画道路クラスの道路が少ない。大泉学園町駅への歩行者アクセスを確保するために、補 230 号の延伸整備は必要と考えられる。
- 大泉学園町駅での二輪車需要は多く、適切な駐輪場を整備する必要がある。

表 6 - 1 予測結果による端末手段別利用者数（大泉学園町駅）

(単位:人/日)

端末手段	人数		
	乗車	降車	乗降
徒歩	8,650	8,767	17,417
二輪車	2,189	2,233	4,422
バス	842	870	1,712
自動車	360	390	750
合計	12,041	12,260	24,301

表 6 - 2 駅前広場の必要施設諸元と広場面積の算定（48 年式、28 年式による）

(単位:台、平方メートル)

バス		タクシー			自家用車		駅前広場総面積	
バース数		バース数		駐車台数	バース数		48年式	28年式(上限) 参考値
乗車	降車	乗車	降車		乗降	駐車台数		
1	1	1	1	3.2	1	1.5	2,408	3,111

駐車台数=必要な駐車場面積 / 1台あたり駐車面積 (30m²)

¹ 参考 4 駅前広場の面積の算出方法を参照。(P131)

² 客扱いを行う停車場所のことである。

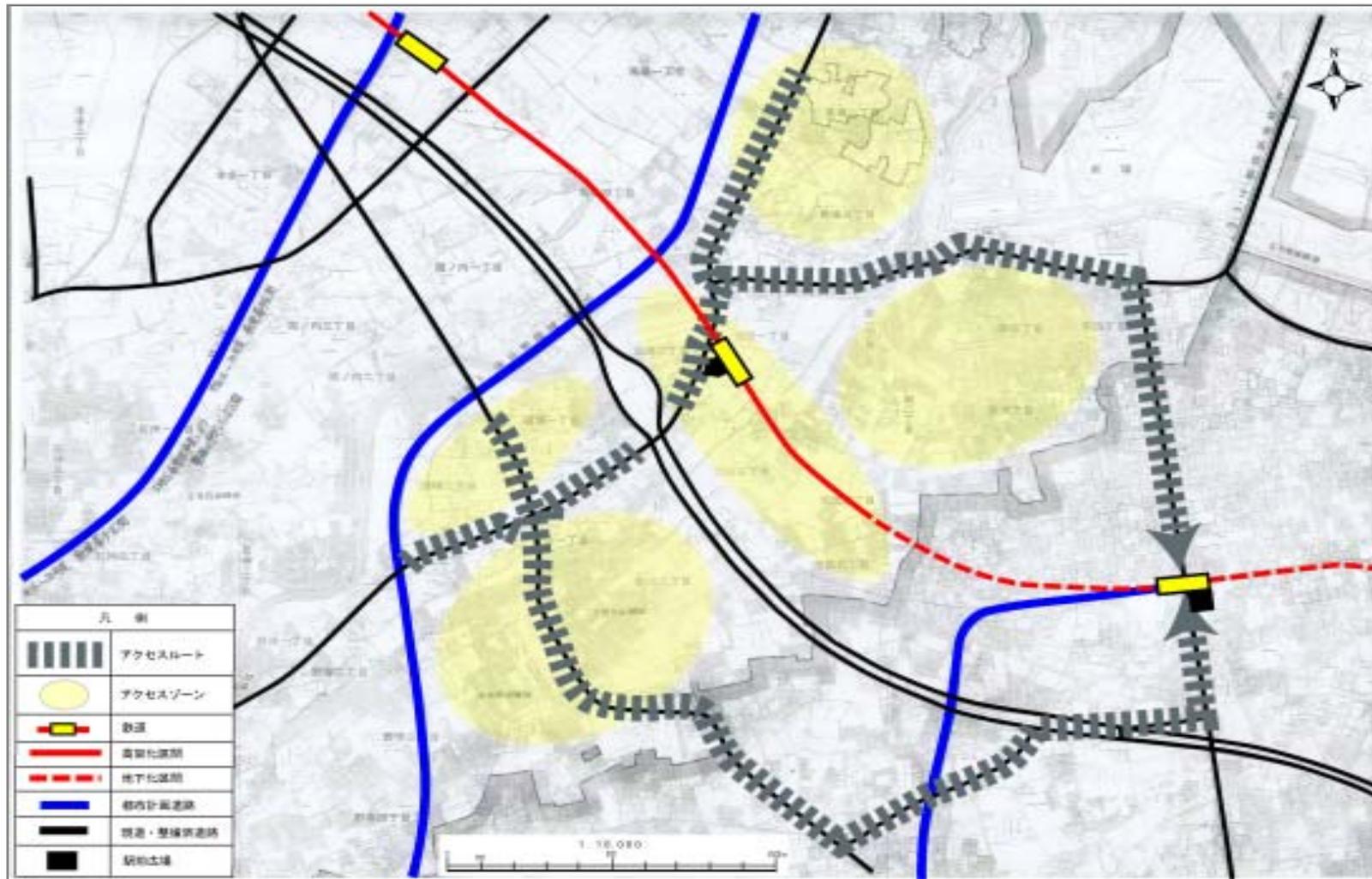


図 6-1 大泉学園町駅までのアクセスルート

